

令和6年度 事業報告書



社会福祉法人
足立区社会福祉協議会

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づいて地域福祉の推進を図ることを目的に、様々な福祉活動を展開している民間組織です。

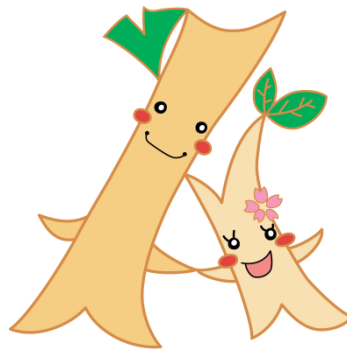
足立区社会福祉協議会は、昭和30年民生・児童委員を中心に、町会・自治会、社会福祉施設等の民間有識者の協力のもと設立し、昭和40年に公益法人である社会福祉法人として認可を受けました。

現在まで、区民主体の地域福祉推進団体として、足立区や関係機関・地域の民間団体等と連携し、区民が住み慣れたまちで安心して暮らせる足立区の実現を目指して様々な事業を実施しています。

わたくしたちは地域福祉のプロとしての自覚と責任をもち、

『ささえ愛 地域いっぱい広げます』を合言葉に、

地域づくり、人づくり、生活づくりを進めることをお約束します。



大樹(だいき)と小枝(こえだ)

足立区社会福祉協議会のイメージキャラクター、大樹と小枝(だいきとこえだ)

目 次

事業報告書

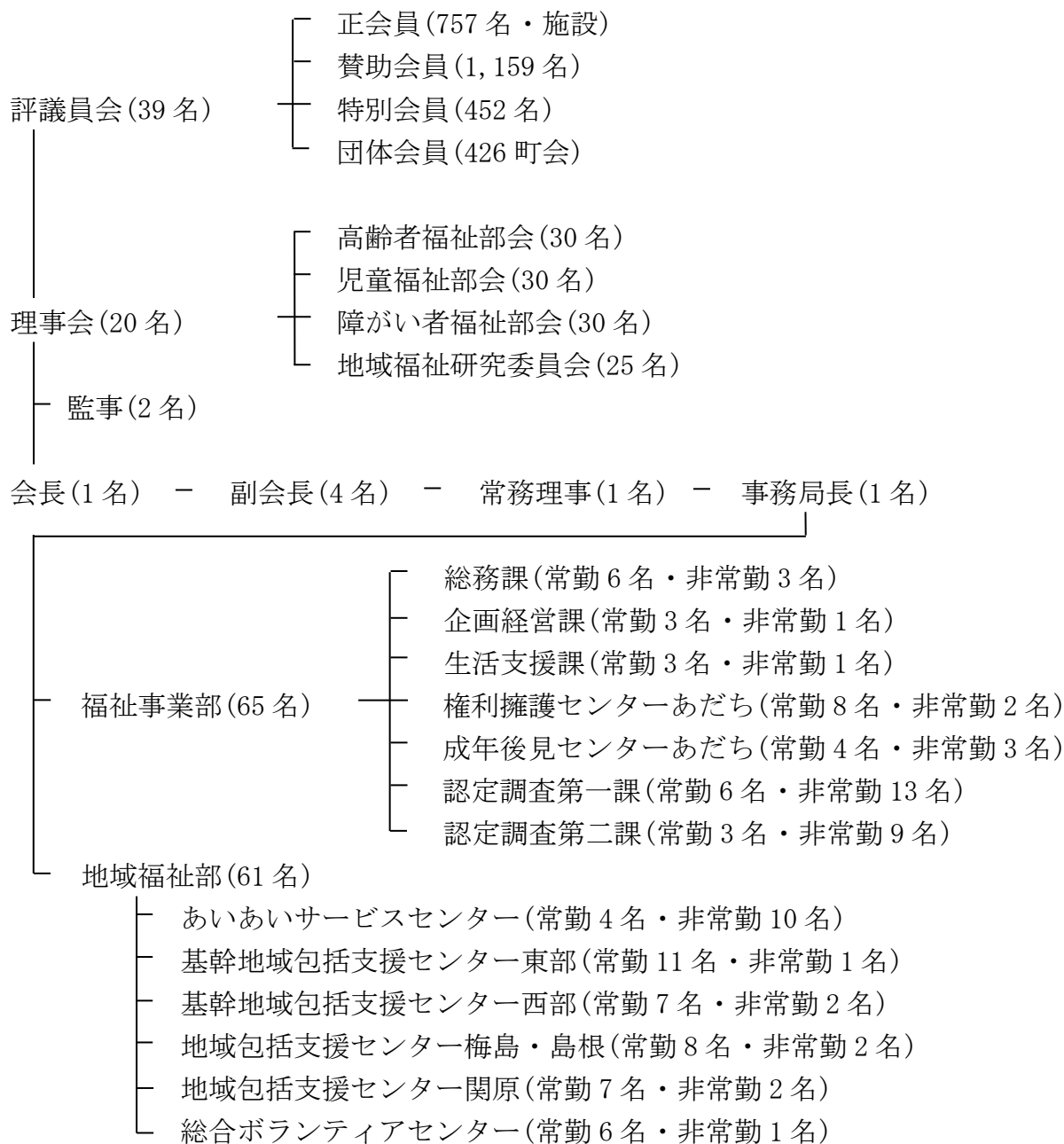
I	令和6年度法人組織図	1
II	事業概要	2
III	資金収支決算	9
1	資金収支決算総括表	9
2	サービス区別資金収支決算内訳表	10
3	事業別資金収支決算内訳表	11
(1)	法人運営事業	11
(2)	地域福祉事業	16
(3)	ボランティア活動推進事業	22
(4)	助成事業	25
(5)	生活福祉資金貸付事業	26
(6)	福祉サービス利用援助事業	27
(7)	障がい福祉サービス事業	28
(8)	歳末たすけあい運動事業	29
(9)	基幹地域包括支援センター事業	30
(10)	地域包括支援センター関原事業	33
(11)	受託事業	35
(12)	障がい者保護雇用清掃事業	38

事業報告書

I 令和6年度法人組織図（令和7年3月31日現在）

設立年月日 昭和30年3月19日

法人認可日 昭和40年6月30日



(注記) 役員、評議員、部会員、委員は定数、会員数は令和7年3月31日現在値、職員数は令和6年度の組織定数を記載している。なお、職員には組織定数のほか、生活支援課で非常勤2名、援助者9名(内パート5名)、作業員22名、あいあいサービスセンターでパートヘルパー22名、権利擁護センターあだちで生活支援員48名、企画経営課でパート1名を雇用した。(職員総数231名)

II 事業概要

1 取り組み状況

令和6年度は、足立区の重層的支援体制整備事業の取り組みへの参画、すこやかプラザあだちへの一部部署の移転準備等、令和7年度から開始する新たな事業の準備・検討を進めつつ、長年取り組んだ事業についても時代のニーズに合わせて見直しを進めた一年となった。

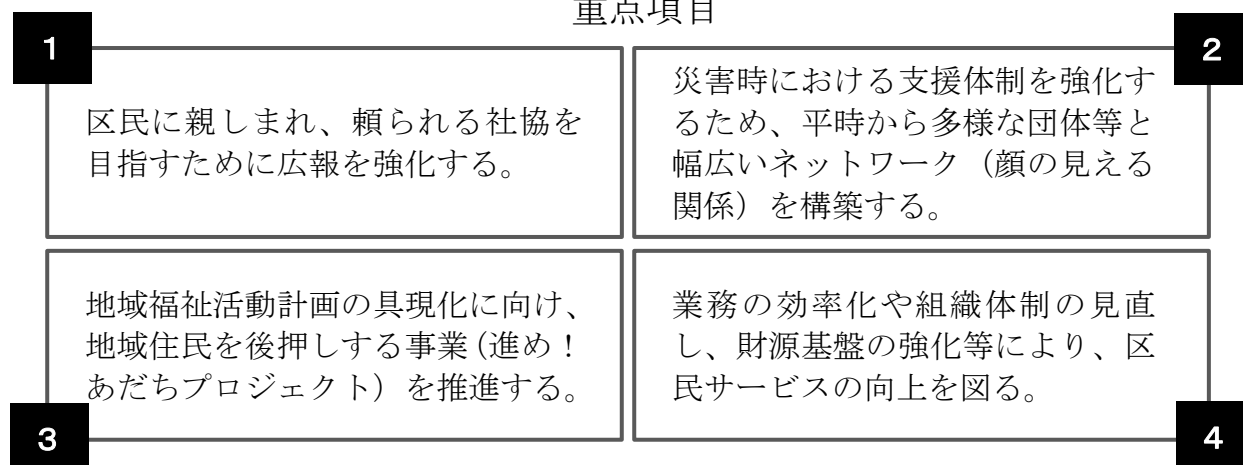
令和7年度に実施する新たな取り組みの準備として、①地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の地域づくりの受託を見据え、地域福祉活動になじみにくい層の社会参加の糸口となる芸福連携プロジェクトの試行、②身寄りなし高齢者の死後事務に特化した、新たな老いじたく支援事業の企画・検討等を行った。

既存事業の見直しとして、「あいあいサポート事業」では、地域住民同士の支えあい活動をさらに推進するため、住民自身が事業の周知やつなぎなどを行う「世話人制度」の試行、「シルバーステッキ支給事業」では区民の要望を踏まえ、購入費助成事業への転換に向けた準備、「車いすステーション」の窓口拡大に向け、区内社会福祉法人への説明会開催などの取り組みを行った。

また、令和7年3月に開催した当会設立70周年記念式典では、地域活動を行う団体や個人に対して特別感謝状を贈呈するとともに、活動者同士の交流の機会を設けるなど、さらなる地域福祉活動の活性化に向け、活動者との連携強化を目指した取り組みも進めている。

なお、令和4年度からの取り組みである、「第3次足立区地域福祉活動計画」、「第4次社協発展・強化計画※」の推進に向けた4つの重点項目については、引き続き組織横断で検討・取り組みを行った。

重点項目



※ 「社協発展・強化計画」とは平成15年に全国社会福祉協議会が策定した「市区町村社協経営指針」において、市区町村社協は自らの経営理念やビジョンに基づく方向性を「発展・強化計画」として定め、具体的な戦略をもって経営を行う必要があるとの提言が示され策定したものである。

重点項目1 広報の強化

「社協」の存在や事業をより身近に認識していただけることを目指し、令和4年度より、社協PRPT(事務局・企画経営課)を立ち上げ、現在ある広報手段のより効果的な活用方法の検討や、更なる情報発信力の強化を図った。

従来の紙媒体による広報紙から、より多くの方へ届けられるよう、ホームページやSNSの活用に力を入れるための取り組みを行った。

(1) ホームページの改修

ア 設立70周年特設ページを開設。

イ 検索機能の強化や、スマートフォン向け機能の強化など、利便性の向上を図った。

(2) 情報発信力の強化

ア 広報紙「あだち社協」の発行

年3回(前年度比1回減)66,000部(前年度比21,500部減)

イ SNSの活用 Facebook 発信数175件(前年度比38件増)

LINE 発信数40件(前年度比4件増)

(3) より効果的な手法の検討

ア PRPTによる広報手段の検討

メンバーによる会議を年7回開催し、職員の広報についての意識、手法の統一を図るためのハンドブック「足立区社会福祉協議会 広報コンセプトブック」の作成や、周知のための研修の企画、ホームページ改修作業、次年度に向けたキャンペーンの企画などを行った。

(4) 広報研修の開催

ア 広報コンセプトブック活用のための研修1回(参加者数50名)

重点項目 2 災害時の支援体制強化

大規模地震や集中豪雨による水害等、災害発生時におけるボランティア活動を支援するため、次の取り組みを実施した。

(1) 災害ボランティアセンター運営支援にかかる基盤整備

ア 災害ボランティア登録制度の推進

(ア) 災害ボランティア登録者数 458 名(前年度比 101 名増)

(イ) 災害ボランティア登録者向けメールマガジンの配信 23 回(前年度比 2 回増)

イ 災害ボランティアセンターネットワーク会議の運営支援

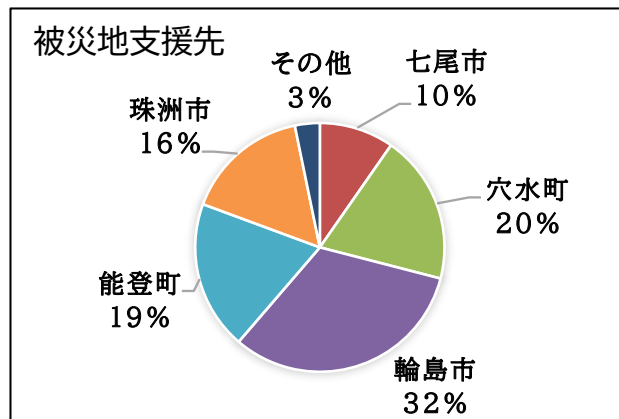
平時から N P O や市民活動団体等と関係を構築し、足立区災害ボランティアセンターを設置・運営するためのネットワーク会議及び設置運営訓練を実施した。

(ア) 災害ボランティアセンターネットワーク会議 2 回(7 月・12 月)

(イ) 災害ボランティアセンター設置運営訓練(9 月)

ウ 災害ボランティア活動に係る費用の助成

被災地までの交通費や宿泊費等の助成支援を行った。助成件数 24 件(前年度比 17 件増)



(2) 災害ボランティア登録者の養成と活動機会の創出

ア 災害ボランティア養成基礎研修会の実施 4 回 72 名参加(前年度比 20 名増)

(ア) 災害ボランティアセンターの役割について

令和 6 年能登半島地震被災地活動報告

(イ) 災害ボランティアオリエンテーション(災害ボランティアの心構えなど)

(ウ) 防災を学ぶ

(エ) 災害ボランティアセンター運営模擬訓練(参加者はボランティア役として従事)

イ 災害ボランティアスキルアップ研修 1 回 13 名参加(前年度比 8 名減)

基礎研修会の(エ)において、災害ボランティアセンターの運営者として従事。事前打ち合わせなど、企画・準備段階から参加。

ウ 災害ボランティア交流会 1 回 17 名参加(初実施)

エ ボランティア団体チームあだちへの加入促進

基礎研修会およびスキルアップ研修会の参加者に、災害ボランティアセンターの運営支援等を推進するボランティア団体「チームあだち」の活動PRを行い、新規に10名が加入した。

(3) 社協職員の災害支援力の向上

ア 職員災害対策チーム会議(6月・9月・12月・3月)

災害支援に対する情報共有や足立区災害ボランティアセンター運営マニュアルの更新、他自治体の取り組みの共有を行った。

イ 職員災害対策チームによる Kintone を活用した災害ボランティアセンター運営シミュレーションの実施

※ (2)ア(エ)の設置訓練・模擬訓練とは別に実施

ウ 常勤職員向け研修の実施 1回 72名参加(前年度比2名増)



【災害ボランティアセンター模擬訓練
「受付」】



【災害ボランティアセンター模擬訓練
「送り出し」】

重点項目3 地域活動の支援

第3次足立区地域福祉活動計画にもとづき、地域共生社会づくりに向けた区民の地域福祉活動を後押しするため、3つの柱立てで「進め！あだちプロジェクト」を実施した。

(1) 人材発掘・情報発信

足立社協 70 周年を記念した各種事業を実施するため職員によるプロジェクトチームを組織し、地域福祉活動団体への感謝状贈呈を行った。

また、贈呈団体を対象とした地域活動リポートの発信および交流会を開催し、団体間の交流促進を図った。

ア 地域活動リポート数 79 本(前年度比 21 本増)

イ 出前講座数 43 回(前年度比 16 回減)

(2) 課題解決のための連携

足立区NPO活動支援センターとの共催で、人生 100 年時代の地域社会づくりに向けて、あだちコミュニティミックス連絡会を開催した。また、地域包括支援センターと連携し、活動の創出、継続支援を行った。

ア あだちコミュニティミックス連絡会

開催数 3 回(前年度比 2 回減)

イ 地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センターからの電話、訪問、来所による相談。地域包括ケアシステム推進会議、はつらつ高齢者部会、生活支援体制整備事業検討会、絆のあんしんネットワーク会議、地域ケア会議、あだち人生いきいきいき会議、一層二層連絡会、ブロック会等の会議出席、西新井多世代交流祭り、フードドライブでいいとも！の実施支援等

回数 589 回(前年度比 255 回増)

(3) 資源開発の推進と機会づくり

登録サロンが活用しやすい助成金制度の改正（令和 7 年 4 月 1 日～）を準備し、登録サロンへの説明を行った。

また、特定非営利活動法人音まち計画との共催で、地域共生社会づくりに向けた新規の取り組みとして「芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト」を開始した。

ア ふれあいサロンの登録数 130 か所(前年度比増減なし)

イ 芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト(新規)

説明会開催数 1 回

ワークショップ実施回数(開催支援) 5 回

※ 「芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト」では、文化・芸術との連携を推進し、福祉サービス利用者等の社会参加機会の拡充に取り組みます。



【交流会】



【第1回連絡会
「子どもの多様性を
受け止める地域づくり」】



【認知症対応型グループホームでのワークショップ
「レ・クリエーション！」
(東京藝術大学主催)。着せ
替え写真を使った利用者基本
情報シートの開発を行った。

重点項目 4 組織の基盤強化

自主財源の確保や職員等、限られた経営資源を有効活用するため、良い職場づくりプロジェクトチーム(通称よいしょPT)を立ち上げ、以下の課題解決に向けて次の取り組みを実施した。

(1) 財源確保策の検討

- ア 職員の意識改革による確実な財源確保策の検討
社協の財源や運営についての研修を全常勤職員が受講：受講人数 72 名
研修実施後、各課で社協財政の改善に向けた取り組み方針を作成し、今後、進捗状況を確認する。
- イ 会員会費や寄附の支払方法を拡充し、クレジットカードのほか、銀行振込や AmazonPay による決済を令和 6 年 9 月より導入
クレジットカード等振込件数：会員会費 6 件
寄附 4 件
- ウ 既存の会員会費募集チラシを見直し、会費の使い道を掲載
また、新たに寄附についてのチラシを作成
- エ 社協のホームページに寄附者の声を掲載

(2) 組織体制の見直し

- ア 職員の能力や専門性を高めるとともに協働意欲の高い人材の育成や人材確保を図る。
(ア) 職層に応じた役割の理解及び資格取得のため、自己申告書の変更、実施
(イ) 自己啓発のための各課所有書籍の共有ツールの運用
書籍掲載数 75 冊登録
- イ 人材確保に向け、実習生の受け入れ制度について他団体へ情報収集

(3) 業務の効率化

- 業務改善によるミス防止他、業務の生産性を図る。
- ア 契約事務の研修実施に向けて、課題の整理及び研修内容の検討
- イ 文書管理システムの導入・運用に向けて情報収集

Ⅲ 資金収支決算

1 資金収支決算総括表

(単位：円)

事業区分		予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	行
社会福祉事業会計	前期末支払資金	126,470,000	121,867,211	4,602,789	1
	収入	938,786,000	879,317,963	59,468,037	2
	支出	940,640,000	888,296,046	52,343,954	3
	当期末支払資金 (1+2-3)	124,416,000	112,889,128	11,526,872	4
公益事業会計	前期末支払資金	0	0	0	5
	収入	487,780,000	468,926,702	18,853,298	6
	支出	487,780,000	465,288,135	22,491,865	7
	当期末支払資金 (5+6-7)	0	3,638,567	△3,638,567	8
小計(ア)	前期末支払資金 (1+5)	126,470,000	121,867,211	4,602,789	9
	収入(2+6)	1,426,566,000	1,348,244,665	78,321,335	10
	支出(3+7)	1,428,620,000	1,353,584,181	75,035,819	11
	当期末支払資金 (9+10-11)	124,416,000	116,527,695	7,888,305	12
内部取引消去額 (イ)	収入	251,000,000	240,771,419	10,228,581	13
	支出	251,000,000	240,771,419	10,228,581	14
合計(ア-イ)	前期末支払資金 (=9)	126,470,000	121,867,211	4,602,789	15
	収入(10-13)	1,175,566,000	1,107,473,246	68,092,754	16
	支出(11-14)	1,177,620,000	1,112,812,762	64,807,238	17
	当期末支払資金 (15+16-17)	124,416,000	116,527,695	7,888,305	18

(注記1) 予算額は補正後予算額を記載している。また、収入は事業活動による収入、施設整備等による収入、その他の活動による収入の合計額、支出には事業活動による支出、施設整備等による支出、その他の活動による支出、予備費の合計額を記載している。

(注記2) 内部取引消去額とは、特定のサービス区分で受け入れた補助金や委託金等を、他のサービス区分で使用するために繰り出し・繰り入れるなどを行ったもの。

2 サービス区別資金収支決算内訳表

(単位：円)

		サービス区分	前年度決算額	当年度決算額	前年度比	行
収入	社会福祉事業会計	法人運営事業	659,000,091	717,223,546	108.8%	1
		地域福祉事業	38,333,777	39,995,430	104.3%	2
		ボランティア活動推進事業	10,727,946	7,928,146	73.9%	3
		助成事業	4,307,642	4,125,750	95.8%	4
		生活福祉資金貸付事業	42,492,569	43,191,000	101.6%	5
		福祉サービス利用援助事業	30,030,134	32,400,847	107.9%	6
		障がい福祉サービス事業	35,746,473	33,388,895	93.4%	7
		歳末たすけあい運動事業	875,461	1,064,349	121.6%	8
		小計	821,514,093	879,317,963	107.0%	9
	公益事業会計	基幹地域包括支援センター事業	227,456,112	241,399,707	106.1%	10
		地域包括支援センター関原事業	70,709,519	74,879,643	105.9%	11
		受託事業	79,083,840	91,518,177	115.7%	12
		障がい者保護雇用清掃事業	72,161,566	61,129,175	84.7%	13
		小計	449,411,037	468,926,702	104.3%	14
合計(9+14)		1,270,925,130	1,348,244,665	106.1%	15	
(内部取引消去額)		234,561,923	240,771,419	102.6%	16	
総合計(15-16)		1,036,363,207	1,107,473,246	106.9%	17	
支出	社会福祉事業会計	法人運営事業	712,172,368	723,012,543	101.5%	18
		地域福祉事業	38,333,777	39,995,430	104.3%	19
		ボランティア活動推進事業	10,565,590	7,717,922	73.0%	20
		助成事業	4,307,642	4,125,750	95.8%	21
		生活福祉資金貸付事業	42,492,569	43,191,000	101.6%	22
		福祉サービス利用援助事業	24,814,134	35,800,157	144.3%	23
		障がい福祉サービス事業	35,746,473	33,388,895	93.4%	24
		歳末たすけあい運動事業	875,461	1,064,349	121.6%	25
		小計	869,308,014	888,296,046	102.2%	26
	公益事業会計	基幹地域包括支援センター事業	227,456,112	241,399,707	106.1%	27
		地域包括支援センター関原事業	70,709,519	74,879,643	105.9%	28
		受託事業	79,083,840	91,518,177	115.7%	29
		障がい者保護雇用清掃事業	72,161,566	57,490,608	79.7%	30
		小計	449,411,037	465,288,135	103.5%	31
合計(26+31)		1,318,719,051	1,353,584,181	102.6%	32	
(内部取引消去額)		234,561,923	240,771,419	102.6%	33	
総合計(32-33)		1,084,157,128	1,112,812,762	102.6%	34	

3 事業別資金収支決算内訳表

(1) 法人運営事業

ア 組織運営

決算額	127,745,501円(前年度186,468,847円)	前年度比	68.5%
財源内訳	事業活動による収入17,970,502円 その他の活動による収入31,421,033円 前期末支払資金残高78,353,966円		
増減理由	大口寄附による寄贈図書及び災害用軽自動車の購入や、退職者に係る退職給付積立資産取崩収入が令和5年度に発生したため。		
事業内容	本会事業の安定的な経営基盤を確保するため、会員増強等による財源確保に努める。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 役員会等の開催</p> <p>ア 理事会3回(6月・11月・2月)</p> <p>イ 評議員会3回(6月・11月・2月)</p> <p>ウ 監事監査2回(5月・11月)</p> <p>(2) 社協会員会費8,698,200円(前年度比466,900円増)</p> <p>(3) 寄附金6,642,629円(前年度より寄附件数が20件減少したため前年度比1,488,643円減)</p> <p>(4) 資産運用配当金2,116,241円(前年度比252,722円増)</p> <p>(5) 赤い羽根共同募金事業への協力</p> <p>ア 街頭募金959,218円(前年比56,286円増)</p> <p>イ 職域募金60,872円(前年度比14,495円増)</p> <p>ウ イベント募金8,384円(前年度比5,560円減)</p> <p>(6) イベント支援後援16件(前年度比1件減)</p> <p>(7) 70周年記念式典の開催</p> <p>ア 日時 令和7年3月15日(土)</p> <p>第1部 午後1時30分～2時45分</p> <p>第2部 午後3時00分～4時30分</p> <p>イ 場所 庁舎ホール</p> <p>ウ 主な内容</p> <p>(ア) 記念アトラクション(ピアノ演奏)</p> <p>(イ) 記念動画上映</p> <p>(ウ) 感謝状贈呈</p> <p>(エ) 感謝状受賞者との交流会</p> <p>エ 参列者数115名(当会職員は除く)</p> <p>(ア) 来賓10名</p> <p>(イ) 理事・評議員40名</p> <p>(ウ) 感謝状贈呈者(同行者含む)65名</p> <p>オ 社協ホームページ内に70周年特設サイトを開設し、記念動画や式典の様子、ロゴマーク、感謝状贈呈者の紹介、社協クイズなどを掲載。</p>		



【感謝状贈呈式】



【70周年記念交流会】

(注記) 事業活動による収入は、会費収入・寄附金収入・受取利息配当金収入・その他の収入。その他の活動による収入は、積立資産取崩収入・事業区分間及びサービス区分間繰入金収入。

イ 事務局運営

決算額	652,147,106 円(前年度 588,228,561 円)	前年度比	110.9%
財源内訳	区補助金収入(人件費)635,805,861 円 その他の収入 437,980 円 積立資産取崩収入 2,145,210 円 自主財源 13,758,055 円		
事業内容	本会事業を推進するための職員の人件費等の管理及び運営を行う。		
年度実績 (成果等)	(1) 人件費 468,819,105 円(前年度比 36,859,127 円増) 中途採用者・退職者含む 127 名(前年度比 3 名減) (2) 事務局運営費 17,693,323 円(前年度比 3,321,386 円増) (3) 分担金 5 件(民生・児童委員の日 PR 週間事業 350,000 円、こころの健康フェスティバル 600,000 円、社会を明るくする運動 210,000 円、東京都内社会福祉協議会職員連絡会 70,000 円、城東ブロック社協職員研修会 20,000 円)		

ウ 広報事業

決算額	13,281,730 円(前年度 13,457,972 円)	前年度比	98.7%
財源内訳	自主財源 13,281,730 円		
事業内容	<p>本会の運営に関する事業案内や小地域福祉活動の情報について、分かりやすく掲載することにより、本会の認知度向上や地域福祉の活動者の拡大を図る。</p>		
年度実績 (成果等)	<p>(1) ホームページの運営 定期的にホームページを更新することで、本会事業のPRを図るとともに、70周年特設ページ開設を含むホームページの改修を行い、検索機能の向上など、より使いやすいページづくりを行った。 ア アクセス件数 193,173 件(前年度比 18,755 件増)</p> <p>(2) 広報紙「あだち社協」の発行 ア 発行回数 3 回(7月・11月・3月) イ 発行部数 66,000 部(ダイジェスト版除く)</p> <p>(3) 公社ニュース「トキメキ」への掲載 12 回(4月～3月)</p> <p>(4) Facebook による情報発信 地域福祉活動の情報発信やイベントの周知・報告などをタイムリーに行った。 ア 投稿数 175 件(前年度比 38 件増) イ フォロワー数 621 件(前年度比 51 件増)</p>		

エ 地域福祉活動推進事業

決算額	622,055 円(前年度 644,142 円)	前年度比	96.6%
財源内訳	自主財源 622,055 円		
事業内容	第3次地域福祉活動計画に基づき、住民自身が地域の課題に気づき、互いに共有し学びながら、解決に向けて取り組んでいくことができるよう支援する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 第3次足立区地域福祉活動計画の中間評価をふまえて、第5期地域福祉研究委員会(委員23名)を招集し、取り組み内容の検討を行った。</p> <p>ア 会議の開催数3回</p> <p>イ 職員プロジェクトチーム会議の開催数6回</p> <p>(2) 人材発掘・情報発信</p> <p>地域福祉活動取材し、地域活動リポート(ささえあいブログ)を発信した。また、足立社協70周年を記念した地域福祉活動団体への感謝状贈呈団体を対象とした交流会を開催し、団体間の交流促進を図った。</p> <p>ア 足立社協のつながるLINE 配信28回、登録者数825名(前年度比254名増)</p> <p>イ ささえあいブログ掲載数79回(前年度比21回増)</p> <p>ウ 出前講座数43回(前年度比16回減)</p> <p>エ 交流会1回(贈呈団体43人/団体)</p> <p>(3) 課題解決のための連携</p> <p>足立区NPO活動支援センターとの共催で、人生100年時代の地域社会づくりに向けて、あだちコミュニティミックス連絡会を開催した。</p> <p>ア あだちコミュニティミックス連絡会開催数3回(前年度比2回減)</p> <p>(4) 資源開発の推進と機会づくり</p> <p>登録サロンが活用しやすい助成金制度の改正(令和7年4月1日～)を準備し、登録サロンへの説明を行った。また、特定非営利活動法人音まち計画との共催で、地域共生社会づくりに向けた新規の取り組みとして「芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト」を開始した。多世代交流にかかる地域のイベント開催を支援した。</p> <p>ア ふれあいサロンの登録数130か所(前年度比増減なし)</p> <p>イ 芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト(新規) 説明会開催数1回 ワークショップ実施回数(開催支援)5回</p> <p>ウ 多世代地域交流事業開催数5回</p>		

オ 連絡・調整事業

決算額	1,781,120 円(前年度 1,726,812 円)	前年度比	103.1%
財源内訳	自主財源 1,781,120 円		
事業内容	<p>本会事業の円滑な運営を図るため、足立区民生・児童委員協議会と調整し、関連事業の連携に努める。</p>		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 足立区民生・児童委員協議会と連携し、関連事業を実施することで、情報の共有化、関わりを強化した。</p> <p>(2) 足立区民生・児童委員協議会への助成 550,000 円(前年度比増減なし)</p> <p>(3) 足立区民生・児童委員協議会への部会負担金 300,000 円(前年度増減なし)</p> <p>(4) 高齢者福祉研究部会 4 回 講義他、特別養護老人ホームやロボテラス(※)に視察。</p> <p>(5) 児童福祉研究部会 4 回 講義他、区立六月中学校に訪問し、不登校支援の現場を知る機会を作った。</p> <p>(6) 障がい者福祉研究部会 4 回 講義他、あいのわ福祉会や日本盲導犬総合センターに視察。</p>		

※ 介護やリハビリ、コミュニケーション、移動支援などの「生活支援ロボット」を実際に見て、触れることができる体験・展示スペース。

(2) 地域福祉事業

ア 緊急援護事業

決算額	924,344 円(前年度 852,770 円)	前年度比	108.4%
財源内訳	その他(過年度分償還金)306,000 円 自主財源 618,344 円		
事業内容	福祉事務所を通して、緊急保護者への交通費等の貸付や母子生活支援施設等に緊急入所した世帯へ日用品セット購入費の一部を支給する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 貸付及び支給額</p> <p>ア 交通費等 793,420 円(前年度比 26,150 円減)</p> <p>イ 日用品セット購入費 20,000 円(前年度比増減なし)</p> <p>ウ 単身入院患者日用品 99,594 円(前年度比 99,594 円増)</p>		

イ ふれあいサロン支援事業

決算額	1,593,570 円(前年度 1,258,583 円)	前年度比	126.6%
財源内訳	共同募金配分金(歳末たすけあい)1,000,000 円 自主財源 591,570 円 その他(過年度分助成金返還)2,000 円		
増減理由	コロナ禍の収束により、活動を再開したサロンが増加し、保険支出等が増加したため。		
事業内容	高齢者、障がい者、子育て世代等の居場所づくりや、仲間づくりや孤立防止を目的とした住民の自主的、自発的なサロン活動の支援を実施する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 住民主体のサロン活動(地域交流の場)を支援し、孤立防止を進めることで支え合える地域づくりを推進する。</p> <p>ア 新規立ち上げサロン数 15 か所</p> <p>イ 総サロン数 130 か所(前年度比増減なし)</p> <p>(2) 高齢者・子育て中の保護者等の孤立を解消するため、サロン同士のネットワークを強化し、助けあえる環境を構築した。</p> <p>ア ふれあいサロン交流会 開催数 1 回</p> <p>(3) サロン通信「ふれあい」</p> <p>ア 総発行部数 3,000 部(前年度比 100 部減)</p> <p>【内訳】</p> <p>1 号 1,000 部、2 号 1,000 部、3 号 1,000 部</p> <p>イ 発行回数 3 回(前年度比増減なし)</p> <p>ウ 令和 6 年 8 月から新たに足立区役所のホームページに「通いの場リスト」が掲載されたことを案内し、多くのサロンが掲載されていることを伝えた。3 号では、誰もが孤立せずに安心して暮らせる地域を目指し、生きがいつくり、仲間づくり、居場所づくりを行えるように働きかけた。</p>		

ウ シルバーステッキ支給事業

決算額	826,000 円(前年度 2,425,400 円)	前年度比	34.1%
財源内訳	自主財源 826,000 円		
増減理由	令和 7 年度より購入費助成事業に移行するため、シルバーステッキの購入が予定本数より少なくなった。		
事業内容	シルバーステッキを支給することにより、高齢者の歩行を助長し、歩行の安全を図る。		
年度実績 (成果等)	(1) 支給件数 1,443 件(前年度比 63 件増) ア 内訳 (ア) 事務局 113 件(前年度比 59 件増) (イ) 地域包括支援センター関原 120 件(前年度比 12 件減) (ウ) 福祉事務所(5 か所)756 件(前年度比 26 件増) (エ) 高齢者地域包括ケア推進課 454 件(前年度比 10 件減)		

エ おはよう訪問事業

決算額	12,783,130 円(前年度 11,180,518 円)	前年度比	114.3%
財源内訳	共同募金配分金収入(赤い羽根)2,740,000 円 共同募金配分金収入(歳末たすけあい)4,482,959 円 自主財源 5,560,171 円		
事業内容	乳酸菌飲料を毎日配達し、ひとり暮らし高齢者の安否確認や緊急事態の対応、孤独感の緩和を図る。		
年度実績 (成果等)	(1) 利用者 1,331 名(前年度 65 名増) (2) 訪問 240,985 回(前年度比 8,297 回増) (3) 安否確認件数 316 件(前年度比 38 件増) ア 緊急対応 15 件(前年度比 6 件増) イ 死亡 9 件(前年度比 5 件増)		

オ あいあいサービスセンター管理運営事業

決算額	475,939 円(前年度 870,677 円)	前年度比	54.7%
財源内訳	自主財源 475,939 円		
増減理由	施設の老朽化に伴い、ゴミ箱やスリッパラック等の備品を令和 5 年度に新調したこと、また、令和 6 年度に同行援護事業が移管されたことにより、水道光熱費が 4 会計に按分され、経費が減少したため。		
事業内容	あいあいサービスセンターの運営を行う。		

カ 車いす貸出事業


決算額	959,836 円(前年度 2,033,070 円)	前年度比	47.2%
財源内訳	寄附金収入 571,780 円 自主財源 388,056 円		
増減理由	<p>(1) 寄附で受領した車いすが想定よりも少なかったため。 昨年対比 台数 33 台→14 台、平均単価 36,333 円→40,841 円</p> <p>(2) 不具合のある車いすの修繕がメンテナンスで完了でき、修繕費の削減、廃棄手数料の執行をおさえられたため。</p> <p>(3) 車いすステーションを新設・運営するための経費を車いすステーション運営事業へ移行したため。</p>		
事業内容	<p>寄贈された車いすをけがや病気等一時的に必要とする区民やボランティア活動等に対して、無償で貸出しする。</p> <p>また、車いす貸出拠点の拡充を図るため、区内福祉事業者等の協力で設置する「足立社協車いすステーション」を運営する。</p> <p>※ 令和 6 年 2 月 1 日開始(令和 6 年度より「車いすステーション運営事業」)</p>		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 貸出件数 1,700 件(前年度比 125 件増)</p> <p>ア 内訳</p> <p>(ア) 事務局 616 件(前年度比 68 件増)</p> <p>(イ) 総合ボランティアセンター183 件(前年度比 9 件増)</p> <p>(ウ) 地域包括支援センター関原 148 件(前年度比 4 件減)</p> <p>(エ) あいあいサービスセンター31 件(前年度比 28 件増)</p> <p>(オ) 中部第一福祉課 9 件(前年度比 4 件減)</p> <p>(カ) 中部第二福祉課 25 件(前年度比 1 件増)</p> <p>(キ) 千住福祉課 98 件(前年度比 27 件減)</p> <p>(ク) 東部福祉課 201 件(前年度比 2 件減)</p> <p>(ケ) 西部福祉課 196 件(前年度比 44 件増)</p> <p>(コ) 北部福祉課 167 件(前年度比 6 件増)</p> <p>(サ) 江南区民事務所 26 件(前年度比 6 件増)</p> <p>(2) 保有台数 164 台(前年度比 3 台増)</p> <p>(3) 廃棄台数 12 台(前年度比 4 台減)</p> <p>(4) 車いすの寄贈 14 台(前年度比 19 台減)</p> <p>寄贈された車いすは、相当額の金額に換算して会計処理を行っている。</p> <p>(5) 車いすの年間メンテナンスを 6 月と 12 月に実施済</p> <p>(6) 事業 PR を広報誌トキメキ、社協広報に掲載 3 回</p>		



キ 車いすステーション運営事業

決算額	341,295 円(前年度 0 円)	前年度比	- %
財源内訳	自主財源 341,295 円		
事業内容	<p>区内社会福祉法人や福祉用具事業者等の協力を得、車いすステーションを設置、運営する。</p> <p>(1) 車いすステーション貸出件数 93 件</p> <p>ア 内訳</p> <p>(ア) (有)福祉の家 16 件</p> <p>(イ) (株)あおばライフケア 11 件</p> <p>(ウ) ダスキンヘルスレント足立ステーション 20 件</p> <p>(エ) パナソニックエイジフリーショップ足立 23 件</p> <p>(オ) まごの手本店 23 件</p>		

ク ファミリー・サポート・センター事業

決算額	19,962,409 円(前年度 17,516,040 円)	前年度比	114.0%
財源内訳	区受託事業収入 18,996,960 円 自主財源 965,449 円		
事業内容	<p>足立区から委託を受け、子どもの預かりや送迎など地域での子育てを支援する。子育ての援助を行いたい人(提供会員)と子育ての援助を受けたい人(利用会員)による会員相互の援助活動を実施する。</p>		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 利用会員数 2,043 名(前年度比 78 名減)※うち両方会員 7 名</p> <p>(2) 提供会員数 198 名(前年度比 7 名増)※うち両方会員 7 名</p> <p>(3) 利用会員登録説明会 13 回(前年度比増減なし)</p> <p>(4) 提供会員登録説明会 7 回(前年度比 1 回減)</p> <p>(5) 提供会員研修</p> <p>ア 提供会員登録時研修 2 回 登録者 26 名(前年度比 2 名減)</p> <p>イ 提供会員フォローアップ研修 10 回 参加者延べ 64 人(前年度比 34 名減)</p> <p>(6) 会員交流会</p> <p>ア 提供会員交流会 1 回 参加者 14 名(前年度比 3 名増)</p> <p>イ 全体(利用会員および提供会員)交流会 1 回 参加者 62 名(前年度比 7 名減)</p> <p>※ 会員同士の交流および直接意見交換できる機会として実施</p>		
			
	【全体交流会】		

- (7) 活動(利用)時間延べ 7,671 時間(前年度比 1,192 時間増)
 (8) 活動(利用)件数延べ 6,210 件(前年度比 846 件増)



【サポート (一時預かり)】

- (9) 利用会員登録説明動画の制作
 利用会員登録の利便性向上を図るために、利用に関する動画を会員
 に出演協力をいただき制作した。



【動画 URL→<https://youtu.be/VAzDE8010f4>】



ケ ひとり親貸付事業



決算額	35,000 円(前年度 35,000 円)	前年度比	100%
財源内訳	東社協受託金 35,000 円		
事業内容	東京都社会福祉協議会から委託を受け、ひとり親家庭の親に対して、資金の貸付事務を行う。		
年度実績 (成果等)	(1) 申請受理件数 7 件(前年度比 1 件減) ア 入学準備金決定件数 0 件(前年度比増減なし) イ 就職準備金決定件数 4 件(前年度比増減なし) ウ 住宅支援資金決定件数 3 件(前年度比増減なし)		

コ あいあいサポート事業


決算額	2,093,907 円(前年度 2,161,719 円)	前年度比	96.9%
財源内訳	区補助金収入(事業費)1,895,062 円 事業収入 198,845 円		
事業内容	<p>日常生活に支障のある高齢者や障がい者等が在宅で安心して暮らせるよう、掃除や買い物などの生活支援、外出の付き添いなどの生きがい支援を、区民ボランティアの協力を得て実施することで、区民による互助活動を促進する。</p>		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 会員・隊員数 ア 協力会員数 303 名(前年度比 69 名増) イ 利用会員数 153 名(前年度比 12 名増) ウ サポート隊員 266 名(前年度比 88 名増)</p> <p>(2) あいあいサポート登録説明会 25 回(前年度比 7 回増)</p> <p>(3) フォローアップ研修・交流会 3 回(前年度比 2 回増)</p> <p>(4) 協力会員感謝状対象者 10 名(前年度比 3 名増)</p> <p>(5) 活動・利用実績 ア あったかサポート 活動時間延べ 3,961 時間 30 分(前年度比 350 時間 30 分減) 利用件数延べ 3,309 件(前年度比 239 件減) イ ちょこっとサポート 派遣件数延べ 734 件(前年度比 431 件増)</p> <p>(6) 世話人制度(新規) 高齢者の孤立や孤独感の解消を図り、住民同士で安心して暮らせる地域づくりを進めるため、地域で困りごとに気づき支え合う「世話人(地域のおせっかいさん)」を育成・配置する仕組みを、令和 6 年 12 月に制度化。 ア 世話人登録数 15 名</p>		
			
	【協力会員感謝状贈呈式】		【世話人制度説明会】

(3) ボランティア活動推進事業



ア ボランティアまつり事業

決算額	580,487円(前年度 648,685円)	前年度比	89.5%
財源内訳	自主財源(ボランティア基金配当金収益)580,487円		
事業内容	ボランティア活動への理解を深め、参加を促進するため、足立区ボランティアまつり実行委員会と共催し、ボランティアまつりを開催する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 第32回ボランティアまつりの開催</p> <p>ア 参加団体数 31 団体(前年度比 3 団体増)</p> <p>イ 来場者数約 1,800 名(前年度比 300 名増)</p>		
	  <p>【第32回ボランティアまつり】</p>		

イ ボランティアセンター運営事業

決算額	2,082,405円(前年度 3,143,727円)	前年度比	66.2%
財源内訳	その他の収入(ボランティア保険等取扱事務手数料)87,575円 自主財源(ボランティア基金配当金収益)140,675円 ※前期末支払資金残高1,854,155円		
増減理由	災害ボランティア事業に係る経費は「災害ボランティア事業」に計上したことによる減。		
事業内容	ボランティアの活動を推進するため、各種事業の普及・啓発活動を行う。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) ボランティア登録</p> <p>ア 個人登録数 457 人(前年度比 18 名減)</p> <p>イ グループ登録数 68 団体(前年度比 2 団体増)</p> <p>(2) ボランティア参加者延べ 383 名(前年度比 124 名減)</p> <p>(3) ボランティア活動レポート 22 回(前年度比 6 回増)</p> <p>(4) 広報紙ボランティアあだち</p> <p>ア LINE 登録者 2,104 名(前年度比 256 名増)</p> <p>イ 発行回数 12 回(前年度比増減なし)</p>		
			

ウ 災害ボランティア事業

決算額	1,596,815 円(前年度 0 円)	前年度比	- %
財源内訳	自主財源 1,096,815 円 経常経費寄付金収入 500,000 円		
事業内容	<p>発災時における災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、日ごろから足立区や関係機関・団体、ボランティアとの連携を深める。また、災害時における様々な支援ニーズに対応できる災害ボランティアを養成するため、平時から定期的に交流会、研修会、模擬訓練等の取り組みを積み重ねていく。</p>		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 災害ボランティア登録者数 458 名(前年度比 101 名増) (2) 災害ボランティア研修の実施 ア 基礎研修 4 回(参加者 72 名)(前年度比 20 名増) イ スキルアップ研修 1 回(参加者 13 名)(前年度比 8 名減) (3) 災害ボランティアメールマガジンの配信 23 回(前年度比 2 回増) (4) 災害ボランティア活動助成金申請件数 24 件(前年度比 17 件増) (5) 災害ボランティア交流会の実施 1 回(参加者 17 名・初開催)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【災害ボランティアセンター 模擬訓練「マッチング」】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【災害ボランティアセンター 模擬訓練「名札作成」】</p> </div> </div>		

エ ボランティア育成事業

決算額	820,119 円(前年度 1,450,472 円)	前年度比	56.5%
財源内訳	自主財源(ボランティア基金配当金収益)820,119 円		
増減理由	災害ボランティア事業に関する経費(災害ボランティア助成金、災害ボランティアに関する研修に係る費用等)を「災害ボランティア事業」に計上したことによる減。		
事業内容	ボランティアを育成するため、各種講座、講習会等を行う。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) ボランティアスクール ア 開催数 4 回(うち 2 回はボランティア団体との共催) イ 受講者数 71 名(前年度比 37 名増) (2) ボランティア応援ポイント商品券交換数 3 件 (3) 夏! ボランティア体験 ア 社会人の参加者数 9 名(前年度比 2 名増) イ ボランティア登録率 9%(前年度比 0.25%増) ウ 参加者数 74 名(前年度比 4 名増)</p>		

	エ 協力団体数 33 団体(前年度比 8 団体減) オ 交流会の実施(コロナ後初開催)参加者 3 名 (4) 点訳ボランティア養成講習会(隔年実施) ア 受講後の活動者の割合 63% イ 修了者 18 名(前回比 8 名増) (5) 総合学習支援講師派遣校数 16 校(前年度比 8 校増)
--	--

オ 福祉ボランティア基金運営事業

決算額	4,702,475 円(前年 5,322,706 円)	前年度比	88.3%
財源内訳	福祉ボランティア基金配当金収入 4,702,475 円		
事業内容	福祉ボランティア基金を安全かつ効率的に運用し、運用益をボランティア活動推進事業に配分することにより、ボランティア活動を推進する。		
年度実績 (成果等)	(1) 基金の運用益をボランティア活動の事業費や普及・啓発費に充当した。(年度末基金残高 849,757,374 円、運用配当金 4,702,475 円)		

(4) 助成事業

ア ボランティア活動助成事業

決算額	1,301,782円(前年度1,364,298円)	前年度比	95.4%
財源内訳	自主財源1,301,782円		
事業内容	ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティアグループ等へ活動資金の一部を助成する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) ボランティア活動資金助成5団体(前年度1件減)</p> <p>ア 内訳</p> <p>(ア) NPO法人バーチャルフォトウォーク</p> <p>(イ) 玉会</p> <p>(ウ) 足立よさこい～彩～</p> <p>(エ) 足立野宿者支援の会 さくら</p> <p>(オ) MOA美術館足立区児童作品展 実行委員会</p> <p>(2) ボランティア活動応援助成1件(前年度比増減なし)</p> <p>登録個人ボランティア等を対象に、職業上のスキルや資格等を活かした新たな活動の場づくり(ボランティアグループ化)に努めた。</p> <p>ア ミニバラ花うさぎ</p> <p>(3) 食事サービス支援事業</p> <p>ア あひる会</p> <p>(ア) 配食回数22回(前年度比増減なし)</p> <p>(イ) 配食延べ食数1,647食(前年度比463食減)</p> <p>(4) 足立区ボランティア連合会への助成700,000円</p> <p>登録ボランティア団体及び個人の連合体「足立区ボランティア連合会」(以下、足ボ連)に助成し、足ボ連に加入するグループ、個人に研修会や交流会の機会の提供、安心してボランティア活動に参加するためのボランティア保険の助成、地域活動を周知する広報紙「手と手」(年3回)の発行を支援した。</p>		

イ 福祉団体行事等助成事業

決算額	2,823,968円(前年度2,943,344円)	前年度比	95.9%
財源内訳	共同募金配分収入(歳末たすけあい)2,000,000円 自主財源823,968円		
事業内容	社会福祉施設及び福祉団体等が実施する行事等の事業経費の一部を補助することにより、児童・心身障がい者(児)・高齢者及びその家族の福祉増進を図ることを目的とする。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 高齢者施設・団体1件(前年比増減なし)</p> <p>(2) 障がい者施設・団体3件(前年比増減なし)</p> <p>(3) 児童福祉施設・団体1件(前年比増減なし)</p>		

(注記) 令和4年度より、社会福祉施設等助成事業、足立区民間保育園行事援助事業、障がい者福祉団体援助事業を統合した。

(5) 生活福祉資金貸付事業

ア 生活福祉資金貸付事業

決算額	19,691,000円(前年度19,708,000円)	前年度比	99.9%
財源内訳	東社協受託金(本則)19,691,000円		
事業内容	低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯、または生計中心者の失業等により生計の維持が困難になった世帯の自立更生を図るため、目的に応じた資金の貸付及び償還事務を行う。また、自宅を所有し、そこに住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、自宅を担保に生活資金を貸付する不動産担保生活資金の貸付を行う。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 貸付決定</p> <p>ア 総合支援資金 貸付件数0件(前年度比2件減)</p> <p>イ 福祉資金 貸付件数2件(前年度比2件減) 貸付金額147,000円(前年度比938,000円減)</p> <p>ウ 教育支援資金 新規貸付決定件数42件(前年度比1件減) 新規貸付決定金額53,538,000円(前年度比247,000円増) 継続件数7件(前年度比1件増) 継続貸付金額1,995,000円(前年度比39,000円減)</p> <p>エ 不動産担保型生活資金 新規貸付決定件数7件(前年度比4件増) 新規貸付決定金額172,032,000円(前年度比134,582,000円増) 年度末契約件数54件(前年度比2件増)</p> <p>(2) 当年度償還率83.3%(前年度85.16%) [参考] 都全体平均67.02%</p>		

イ 生活福祉資金特例貸付事業

決算額	23,500,000円(前年度22,784,569円)	前年度比	103.1%
財源内訳	東社協受託金23,500,000円		
事業内容	令和5年1月から償還開始となっている緊急小口資金等の特例貸付について、償還免除の承認を受けた方や償還が困難な方など、特に支援が必要と考えられる借受人に対し、フォローアップ支援を行う。		
年度実績 (成果等)	<p>返済が難しい借受人に対して、生活相談や返済方法に関する相談等の業務を行った。</p> <p>(1) 償還相談件数2,805件(前年度比2,183件減)</p> <p>(2) 償還猶予決定462件(前年度比291件増)</p> <p>(3) 少額設定決定44件(前年度比4件減)</p>		

(6) 福祉サービス利用援助事業

ア 地域福祉権利擁護事業

決算額	20,275,683 円(前年度 19,405,879 円)	前年度比	104.5%
財源内訳	東社協受託金収入 10,707,000 円 事業収入 2,394,954 円 繰入金収入(区人件費補助金分)6,279,835 円 自主財源(事業費不足分)893,894 円		
事業内容	東京都社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者や知的障がい者などに対し、契約により福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービスなどを行い、安心して自立した地域生活が送れるよう支援する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 新規相談件数 141 件 新規対応件数延べ 995 件(前年度比 160 件増) ※ 集計方法変更により増加</p> <p>(2) 契約者対応件数延べ 10,122 件(新規指標)</p> <p>(3) 年度末契約件数 65 件(前年度比 11 件減) ア 新規契約件数 17 件(前年度比 3 件増) イ 終了(解約)件数 28 件(前年度比 13 件増)</p> <p>(4) 生活支援員数 48 名(前年度比 4 名増)</p> <p>(5) 生活支援員研修実施回数 4 回(前年度比増減なし)</p> <p>(6) 出前講座 2 件(前年度比 5 件減) ア 参加者数延べ 53 名(前年度比 91 名減)</p>		



イ 高齢者あんしん生活支援事業

決算額	10,266,007 円(前年度 8,627,280 円)	前年度比	119.0%
財源内訳	事業収入 590,628 円 自主財源 1,887,599 円 高齢者あんしん生活支援事業長期預り金収入 7,787,780 円		
事業内容	区内に身寄りのないひとり暮らし高齢者と事前に契約し、入院(入所)時などの保証機能や支援を行うとともに、判断能力の低下や死後の準備など将来直面し得るリスクの予防に努める。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 新規相談件数 154 件 新規対応件数延べ 866 件(前年度比 519 件増) ※ 集計方法変更により増加</p> <p>(2) 契約者対応件数 3,785 件(新規指標)</p> <p>(3) 年度末契約件数 67 件(前年度比 4 件減) ア 新規契約件数 13 件(前年度比 1 件増) イ 解約件数 17 件(前年度比 14 件増)</p> <p>(4) 出前講座 7 回(前年度比 3 回減) ア 参加者数延べ 138 名(前年度比 64 名減)</p> <p>(5) 視察対応 9 件(前年度比増減なし)</p>		



ウ 法人後見事業

決算額	1,859,157円(前年度1,996,975円)	前年度比	93.1%
財源内訳	区補助金収入(事業費)367,157円 事業収入1,492,000円		
事業内容	<p>認知症高齢者など判断能力が十分でない方の成年後見人等について、社協が法人として受任し、区民の権利擁護を推進していく。あだち区民後見人が後見支援員として社協職員と協力して業務を進め、あだち区民後見人の単独受任件数増加を目指すことを目的とする。</p> <p>あだち区民後見人が受任するケースの後見監督として社協が法人として受任し、あだち区民後見人の監督とサポートを行う。</p>		
年度実績(成果等)	<p>(1) 実施件数</p> <p>ア 法人後見4件(前年度比1件増)</p> <p>【増減内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規受任1件 <p>イ 法人後見監督11件(前年度比2件増)</p> <p>【増減内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規受任5件 ・ 死亡による終了2件 ・ 辞任による終了1件 		

(7) 障がい福祉サービス事業

ア 同行援護事業

決算額	22,347,208円(前年度25,840,246円)	前年度比	86.5%
財源内訳	都補助金収入540,000円 事業収入21,807,208円		
事業内容	<p>障害者総合支援法に基づき視力や視野に障がいを持つ方ができる限りその人らしく生活できるようガイドヘルパーを派遣し、状況に応じて情報提供、代筆・代読などの支援を行う。</p>		
年度実績(成果等)	<p>(1) ガイドヘルパー数22名(前年度比2名減)</p> <p>(2) 利用者数41名(前年度比2名減)</p> <p>(3) 派遣延べ件数1,887件(前年度比196件減)</p> <p>(4) ガイドヘルパー定例会4回(前年度比増減なし)</p> <p>(5) ガイドヘルパー研修会4回(前年度比増減なし)</p> <p>(6) ガイドヘルパー実技研修3回(前年度比増減なし)</p>		

イ 手話通訳者派遣事業

決算額	11,041,687円(前年度9,906,227円)	前年度比	111.5%
財源内訳	区受託事業収入11,041,687円		
事業内容	<p>聴覚障がい者及び音声言語機能障がい者の社会生活を支援するため、手話通訳者を派遣(医療・福祉・教育に関すること等)する。また、手話通訳者の技術向上のため研修会を開催する。</p>		
年度実績(成果等)	<p>(1) 派遣件数2,095件(前年度比238件増)</p> <p>(2) 事業内容の調整について関係団体と協議を行った。</p>		

	(3) 手話通訳者数 72 名(前年度比 6 名減) (4) 研修回数(新任研修 5 回、現任研修 7 回)
--	---

(8) 歳末たすけあい運動事業

ア 歳末たすけあい運動事業

決算額	1,064,349 円(前年度 875,461 円)	前年度比	121.6%
財源内訳	共同募金配分金収入(歳末たすけあい)481,760 円 共同募金交付金収入(歳末たすけあい)582,589 円		
増減理由	遺児見舞対象者の増により援護費支出が増えたため。		
事業内容	共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動を実施し、遺児への見舞品贈呈等を実施する。		
年度実績 (成果等)	(1) 募金 ア 一般募金 (ア) 募金件数 80 件(前年度比 3 件増) (イ) 募金金額 4,315,830 円(前年度比 1,142,328 円増) イ 町会・自治会募金 (ア) 募金金額 5,300,889 円(前年度比 115,971 円増) (2) 遺児見舞(プリペイドカード 1 万円)の贈呈 ア 贈呈世帯数 30 世帯(前年度比 6 世帯増) イ 贈呈者数 48 名(前年度比 17 名増)		

(9) 基幹地域包括支援センター事業

ア 基幹地域包括支援センター事業

決算額	240,230,955 円(前年度 226,286,814 円)	前年度比	106.2%
財源内訳	区補助金収入(運営費)10,145,570 円 区受託事業収入 103,329,500 円 繰入金収入(区人件費補助金分)125,587,133 円 介護予防支援介護料繰入金収入 1,168,752 円		
事業内容	足立区から委託を受け、地域の総合相談窓口として、高齢者に関する介護等の相談を行う。また、基幹型として地域包括支援センターや介護支援専門員を支援し、機能向上や連携強化を図る。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 基幹型業務</p> <p>ア ケアカンファレンスへの参加 669 回(前年度比 9 回減)</p> <p>イ 地域包括支援センター連絡会 12 回(前年度比増減なし)</p> <p>ウ 地域包括支援センターブロック会参加 55 回</p> <p>エ 地域包括支援センター職員研修会</p> <p>(ア) 集合研修 9 回(前年度比増減なし)</p> <p>(イ) 受講者数 300 名(前年度比 28 名減)</p> <p>(ウ) 出張研修 6 回うち 4 回地域包括ケア推進課との共催(前年度比 1 回減)</p> <p>オ 介護支援専門員活動支援、ネットワーク構築</p> <p>(ア) 足立区主任介護支援専門員連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体研修 2 回 参加者 444 人 ・ グループスーパービジョン研修 8 回 参加者 92 人 <p>(イ) 居宅介護支援部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体研修会 2 回 参加者 404 人 ・ 単独研修会 4 回 参加者 334 人 <p>(ウ) あだちケアマネ研究会</p> <p>研修会 11 回 参加者 340 人</p> <p>(エ) ケアマネ 3 団体連携 5 回</p> <p>カ 生活支援体制整備事業検討会(年 3 回)</p> <p>キ 一層二層連絡会(各ブロック年 4 回・計 20 回)</p> <p>(2) 地域型業務</p> <p>ア 相談件数延べ 6,972 件(前年度比 324 件増)</p> <p>イ 実態把握 847 件(実施率 100%)</p> <p>ウ 介護予防教室(出前講座含む)</p> <p>(ア) 開催数 18 回(前年度比 7 回増)</p> <p>(イ) 参加者数延べ 315 名(前年度比 187 名増)</p> <p>エ はじめてのフレイル予防教室</p> <p>(ア) 開催数 2 クール(1 クール 12 回)</p> <p>(イ) 参加者数 19 名(前年度比 1 名増)</p> <p>オ みんなで元気アップ教室</p> <p>(ア) 開催数 2 クール(1 クール 10 回)</p> <p>(イ) 参加者数 24 名(前年度比 5 名増)</p>		

- カ 家族介護者教室(出前講座含む)
 (ア) 開催数 7 回(前年度比 2 回増)
 内 1 回認知症を学ぶ会
 (イ) 参加者数延べ 36 名(前年度比 4 名減)
- キ 認知症サポーター養成講座・声掛け訓練
 (ア) 開催数 5 回(前年度比 1 回増)
 (イ) 参加者数延べ 54 名(前年度比 6 名増)
- ク 認知症カフェ
 (ア) 開催数 17 回(前年度比 1 回減)
 (イ) 参加者数延べ 122 名(前年度比 40 名増)
- ケ 本人ミーティング
 (ア) 開催数 3 回(前年度比増減なし)
 (イ) 参加者延べ人数 16 名(前年度比 11 名増)
- コ 地域ケアネットワーク
 (ア) 開催数 13 回(前年度比 2 回増)
 うち単独 1 回 主任ケアマネ交流会 12 回
 (イ) 参加者数延べ 111 名(前年度比 15 名減)
- サ もの忘れ相談
 (ア) 開催数 4 回(前年度比増減なし)
 (イ) 参加人数 15 人(前年度比 1 名減)
- シ 地域ケア会議
 (ア) 開催数 1 回(前年度比増減なし)
 (イ) 参加者数 10 名(前年度比 1 名減)
- ス 人生いきいき会議
 (ア) 開催数 1 回(前年度比増減なし)
 (イ) 参加者数 2 事例合計 102 名
- セ 絆のあんしんネットワーク連絡会
 (ア) 開催数 4 回(前年度比増減なし)
 (イ) 参加者数延べ 113 名(前年度比 12 名増)
- ソ 出張相談窓口
 (ア) 開催数 4 回(前年度比増減なし)
 (イ) 参加者数延べ 369 人(前年度比 286 名増)
- タ きかんだより
 (ア) 発行部数 1,700 部/回(前年度比 200 部増)
 (イ) 発行回数 4 回(前年度比増減なし)



【介護予防教室
「外国人講師による脳トレ」】



【介護予防教室
「地域住民による手品
を披露するグループ」】

イ 介護予防支援(基幹)事業

決算額	1,168,752 円(前年度 1,169,298 円)	前年度比	100.0%
財源内訳	事業収入 1,168,752 円		
事業内容	担当エリア内に住所を有する要支援認定を受けた方及び事業対象者の介護予防サービス計画等を作成し介護予防を推進する。		
年度実績 (成果等)	(1) 介護予防サービス計画等 2,069 件(前年度比 15 件減)		

(10) 地域包括支援センター関原事業

ア 地域包括支援センター関原事業

決算額	73,697,145 円(前年度 69,589,593 円)	前年度比	105.9%
財源内訳	区受託事業収入 43,680,000 円 繰入金収入(区人件費補助金分)28,834,647 円 介護予防支援介護料繰入金収入 1,182,498 円		
事業内容	足立区から委託を受け、地域の総合相談窓口として、高齢者に関する介護等の相談を行う。また、地域型として、介護予防教室等の開催や介護予防体操の啓発等を行う。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 地域型業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 相談件数延べ 8,464 件(前年度比 2,564 件増) イ 実態把握 876 件(実施率 100%) ウ 介護予防教室(出前講座含む) <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 5 回(前年度比 2 回減) (イ) 参加者数延べ 77 名(前年度比 85 名減) エ はじめてのフレイル予防教室 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 2 クール(1クール 12 回) (イ) 参加者数 19 名(前年度比 3 名増) オ みんなで元気アップ教室 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 2 クール(1クール 10 回) (イ) 参加者数 11 名(前年度比 8 名減) カ 家族介護者教室(出前講座含む) <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 5 回(前年度比 1 回増) <ul style="list-style-type: none"> 内 1 回認知症の新薬を学ぶ会 (イ) 参加者数延べ 44 名(前年度比 7 名増) キ 認知症サポーター養成講座・声掛け訓練 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 4 回(前年度比増減なし) (イ) 参加者数延べ 74 名(前年度比 25 名増) ク 認知症カフェ <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 12 回(前年度比増減なし)」 (イ) 参加者数延べ 166 名(前年度比 51 名増) ケ 本人ミーティング <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 3 回(前年度比増減なし) (イ) 参加者延べ人数 6 名(前年度比 1 名減) コ 地域ケアネットワーク <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 2 回(前年度比 1 回減) (イ) 参加者数 39 名(前年度比 13 名減) サ もの忘れ相談 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 4 回(前年度比増減なし) (イ) 参加者数 10 名(前年度比 1 名増) シ 地域ケア会議 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 開催数 1 回(前年度比増減なし) (イ) 参加者数 11 名(前年度比 1 名減) 		

- ス 人生いきいき会議
 - (ア) 開催数 1 回(前年度比増減なし)
 - (イ) 参加者数 2 事例合計 102 名
- セ 絆のあんしんネットワーク連絡会
 - (ア) 開催数 4 回(前年度比増減なし)
 - (イ) 参加者数延べ 132 名(前年度比 53 名減)
- ソ 出張相談窓口
 - (ア) 開催数 7 回(前年度比 2 回増)
 - (イ) 参加者数延べ 203 人(前年度比 71 名減)
- タ うめだより
 - (ア) 発行部数 6,000 部(前年度比 2,700 部増)
 - (イ) 発行 4 回(前年度比 1 回増)



【認知症サポーター養成講座】



【地域ケア会議】

イ 介護予防支援(関原)事業

決算額	1,182,498 円(前年度 1,119,926 円)	前年度比	105.6%
財源内訳	事業収入 1,182,498 円		
事業内容	担当エリア内に住所を有する要支援認定を受けた方及び事業対象者の介護予防サービス計画等を作成し介護予防を推進する。		
年度実績 (成果等)	(1) 介護予防サービス計画等 2,020 件(前年度比 83 件増)		

(11) 受託事業

ア ボランティア施設管理事業

決算額	19,702,031 円(前年度 18,835,610 円)	前年度比	104.6%
財源内訳	区受託金収入 18,651,885 円 繰入金収入(区人件費補助金分)1,050,146 円		
事業内容	足立区の指定管理者として、総合ボランティアセンター、西綾瀬ボランティアセンターの維持管理・管理運営を行った。また、ボランティア活動振興の拠点として、各種事業の開催、会議室・機材の貸出や資料等の情報提供を行う。		
年度実績 (成果等)	西綾瀬ボランティアセンターの施設管理事業の委託は、施設の老朽化により、令和6年度末をもって終了した。 (1) 総合ボランティアセンター ア 利用件数 1,652 件 イ 利用人数 19,095 名(前年度比 2,473 名増) (2) 西綾瀬ボランティアセンター ア 利用件数 142 件 イ 利用人数 886 名(前年度比 32 名減)		

イ 苦情解決センター事業

決算額	514,178 円(前年度 493,729 円)	前年度比	104.1%
財源内訳	区受託金収入 514,178 円		
事業内容	足立区から委託を受け、高齢者、障がい年者福祉サービス等の契約上のトラブルや苦情の調査・調整を行い、足立区福祉サービス苦情等解決委員会へ報告する。		
年度実績 (成果等)	(1) 苦情相談新規件数 79 件 (2) 苦情相談解決件数 20 件(前年度比 2 件減) ア 高齢者の福祉サービスに関する苦情 5 件(前年度比 4 件減) イ 障がい者の福祉サービスに関する苦情 15 件(前年度比 2 件増) (3) 苦情相談継続件数 5 件 (4) 苦情等解決委員会 開催回数 5 回(前年比増減なし) ※案件の都合により 1 回中止 (5) 「足立区福祉サービス苦情対応事例紹介」の作成		

ウ 成年後見制度支援事業

決算額	4,628,218 円(前年度 4,219,358 円)	前年度比	109.7%
財源内訳	区受託金収入 4,628,218 円		
事業内容	足立区から委託を受け、認知症高齢者など判断能力が十分でない方を支援する制度である成年後見制度の周知、啓発、利用促進のため、相談会や研修会などを開催し、申立てに関する相談や申立て支援などを行う。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 相談・申立件数延べ 4,917 (前年度比 1,120 件増)</p> <p>ア 内訳</p> <p>(ア) 成年後見制度延べ 1,950 件(前年度比 112 件増)</p> <p>(イ) 任意後見制度延べ 136 件(前年度比 32 件増)</p> <p>(ウ) 本人申立延べ 274 件(前年度比 30 件増)</p> <p>(エ) 親族申立延べ 401 件(前年度比 90 件増)</p> <p>(オ) 区長申立延べ 213 件(前年度比 140 件増)</p> <p>(カ) 金銭管理延べ 626 件(前年度比 167 件増)</p> <p>(キ) 債務・消費者被害等経済問題延べ 239 件(前年度比 95 件増)</p> <p>(ク) 虐待・親族間紛争等の家族問題延べ 193 件(前年度比 171 件増)</p> <p>(ケ) 身元保証延べ 266 件(前年度比 149 件増)</p> <p>(コ) 相続・遺言延べ 207 件(前年度比 60 件増)</p> <p>(サ) 苦情・権利擁護延べ 143 件(前年度比 118 件増)</p> <p>(シ) その他延べ 269 件(前年度比 16 件増)</p> <p>(2) 緊急事務管理新規実施件数 12 件(前年度比 5 件増)</p> <p>(3) 出前講座</p> <p>ア 開催数 12 回(前年度比 5 回増)</p> <p>イ 参加者延べ人数 245 名(前年度比 121 名増)</p> <p>(4) 高齢者・障がい者のための法律相談会(弁護士) 9 回</p> <p>(5) 高齢者・障がい者のための成年後見、相続相談会(司法書士)10 回</p> <p>(6) 成年後見制度に関する無料相談会 1 回</p> <p>(7) 親族のための講座 1 回</p> <p>(8) 相談・窓口職員向けの研修 1 回</p> <p>(9) 地域包括支援センター向けの職員研修 1 回</p> <p>(10) あだち区民後見活動メンバー 29 名</p> <p>ア 養成研修 4 名</p> <p>(ア) 座学研修 8 日間(25 時間)</p> <p>(イ) 実務研修「地域福祉権利擁護事業生活支援員活動」</p>		

エ 介護職員研修事業

決算額	1,185,618 円(前年度 1,358,333 円)	前年度比	87.3%
財源内訳	区受託金収入 1,176,618 円 参加費収入 9,000 円		
事業内容	足立区から委託を受け、訪問介護員やサービス提供責任者、施設職員の業務の質の向上を図るために研修を開催する。		
年度実績 (成果等)	(1) 介護職員研修 30 回(前年度比増減なし) ア 受講者延べ人数 913 名(前年度比 438 名増) (2) 受講施設及び事業者数 123 か所		

オ 要介護認定訪問調査事業

決算額	59,950,500 円(前年度 48,631,000 円)	前年度比	123.3%
財源内訳	区補助金収入(運営費)3,614,000 円 区受託事業収入 56,336,500 円		
増減理由	受託料単価が変更され、受託料収入が大幅に増加したため。		
事業内容	足立区から委託を受け、要介護認定訪問調査を公平かつ公正な立場で専門的に行う。(令和 6 年度契約件数 9,500 件)		
年度実績 (成果等)	(1) 認定調査件数 9,784 件(前年度比 598 件減) ア 内訳 (ア) 介護保険課分 9,676 件(前年度比 614 件減) (イ) 福祉事務所分 108 件(前年度比 16 件増) (ウ) 他都市分 0 件(前年度比増減なし) (2) 依頼に対する完遂率 100%		

カ 地域包括支援センター関原施設管理事業

決算額	5,537,632 円(前年度 5,545,810 円)	前年度比	99.9%
財源内訳	区受託金収入 5,537,632 円		
事業内容	地域包括支援センター関原及び同一敷地内にある中部地域会議室、子育てサロンの施設維持・管理運営を行う。		
年度実績 (成果等)	(1) 施設を快適に利用できるようにするため、庭園の剪定、施設内清掃、保守点検等を実施した。		

(12) 障がい者保護雇用清掃事業

ア 障がい者保護雇用清掃事業

決算額	61,129,175 円(前年度 72,161,566 円)	前年度比	84.7%
財源内訳	区補助金収入(事業費)12,920,000 円 障がい者雇用関係補助金収入 14,268,000 円 事業収入 33,817,050 円 その他(保険金収入等)124,125 円		
事業内容	知的障がい者の作業員(22 名)と作業員を支援する援助者(9 名)を雇用し、公共施設等(4 拠点・6 施設)の清掃作業を通して、障がい者の社会的自立と雇用を促進する。		
年度実績 (成果等)	<p>(1) 清掃箇所 4 拠点 6 施設(前年度比 1 施設増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 総合ボランティアセンター(足立市街地開発株式会社を含む) イ 生涯学習センター ウ 足立区役所(屋外、足立保健所を含む) エ 障がい福祉センターあしすと <p>(2) 作業員 22 名(前年度比 2 名減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 作業員勉強会 2 回 <ul style="list-style-type: none"> 第 1 回あしすと雇用支援室「夜間開室」の事業説明 プログラム体験(栞作り) 第 2 回「ギャラクシティの施設見学・プラネタリウム鑑賞」 <p>(3) 援助者 9 名(前年度比増減なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 援助者会議 <ul style="list-style-type: none"> 2 回開催 各拠点報告及び援助者意見交換 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 保護者会議 <ul style="list-style-type: none"> 2 回開催 作業員の勤務状況の報告及び意見交換 		

令和6年度事業報告書

令和7年6月

社会福祉法人足立区社会福祉協議会

〒120-0011 東京都足立区中央本町一丁目17番1号

TEL 03-3880-5740 FAX 03-3880-5697

URL <https://adachisyakyo.jp>